

具体的回答を

チッソ
社長に

患者ら「血書」で迫る

水俣病新認定患者の川本輝夫さん(右)ら六人とチッソの東京での二回目の補償交渉は八日午前十時半から東京・丸の内チッソ本社で始まったが、チッソが中央公害審査委持ち込みの態度を変えないため、患者側は席上、具体的回答

を求める「血書」を書いて島田チッソ社長に迫っている。同本社の廊下四力所には午前十一時すぎ「患者」、交渉を支援して東京・熊本などの水俣病を告発する会員など約百五十人がすわり込んでい

(東京支社)



チッソ本社前にすわり込んだ水俣病を告発する会員たち